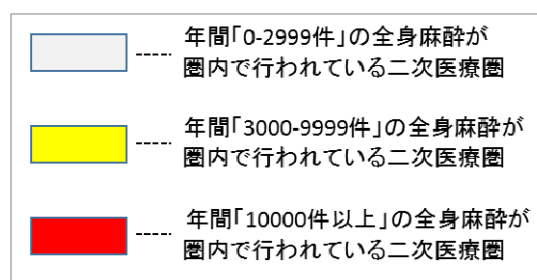
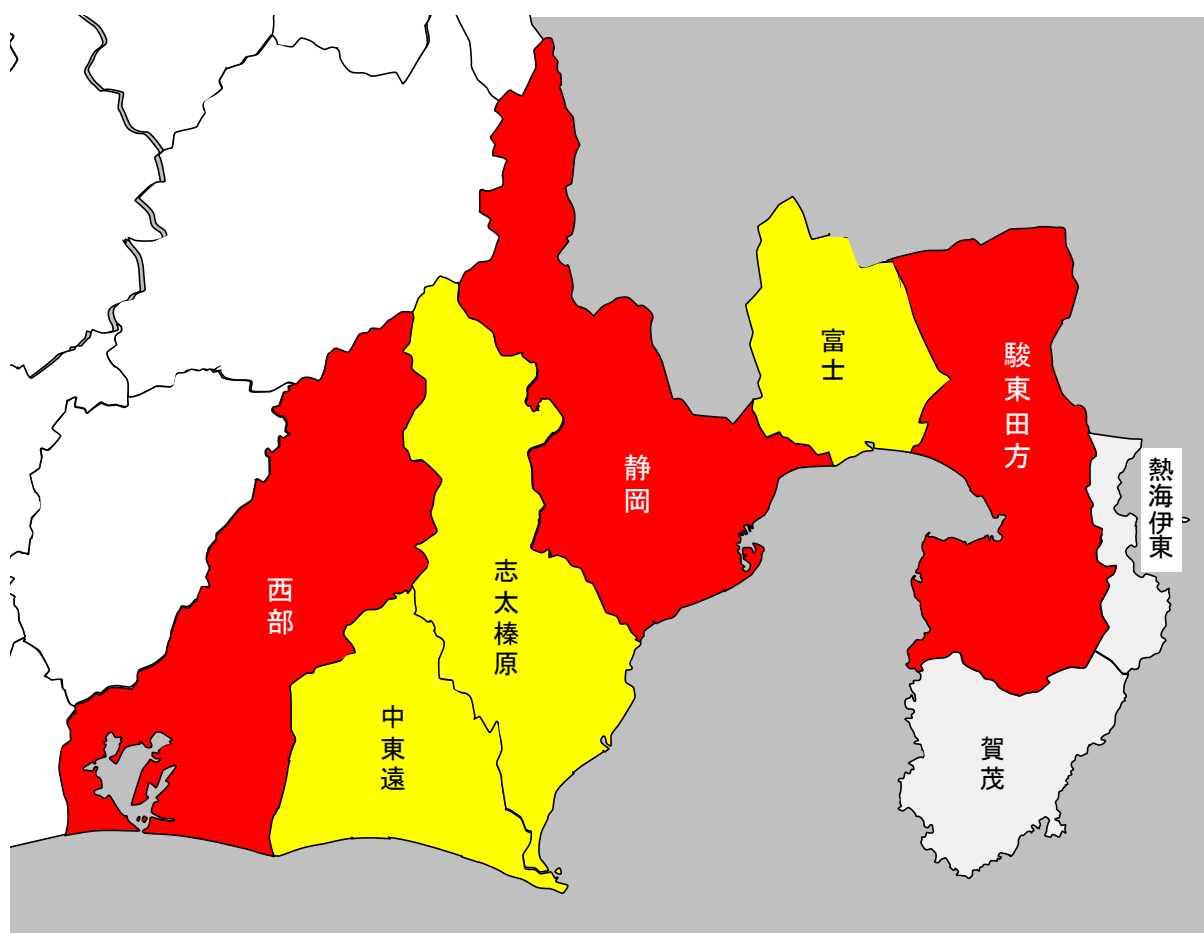


22. 静岡県



22. 静岡県

(静岡県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

静岡県の特徴は、(1) 少ない医療資源、(2) 駿東田方(沼津)、静岡、西部(浜松)に医療資源が分散的集中していることである。

(1) 少ない医療資源

全県を通しての人口当たりの総病床数の偏差値が 46、一般病床が 44、総医師数が 45 (病院勤務医数 45、診療所医師 46)、総看護師数が 45、全身麻酔数 49 と、全ての項目が全国平均を下回っている。医学部のある西部(浜松)を含めて全ての医療圏で総医師数と看護師数の偏差値が 50 を切っており、全県を通して医師数も看護師数も不足している。

(2) 駿東田方(沼津)、静岡、西部(浜松)に医療資源が分散的集中

医師数も看護師数も少ないが、駿東田方(沼津)、静岡、西部(浜松)で全身麻酔数の偏差値が 50 を超えている。東海道沿線に、年間全身麻酔 1000 件を超える拠点病院が点在し、特に沼津、静岡、浜松に高機能病院が集まっている。静岡県には、沼津、静岡、浜松という 3 つの医療の拠点都市があるので、一極集中型の県と比べて、他の地域から医療の拠点都市(病院)までのアクセスが比較的容易である。賀茂や山岳地帯は、拠点病院までの搬送距離が長いのでドクターヘリが使用されることがある。

(賀茂医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

地域の概要： 賀茂（下田市等）は、総人口約7万人（2010年）、面積585km²、人口密度は126人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

賀茂の総人口は2015年に7万人と増減なし（2010年比±0%）、25年に6万人へと減少し（2015年比-14%）、40年に4万人へと減少する（2025年比-33%）と予想されている。一方、75歳以上人口は、2010年1.3万人から15年に1.4万人へと増加（2010年比+8%）、25年にかけて1.7万人へと増加（2015年比+21%）、40年には1.3万人へと減少する（2025年比-24%）ことが見込まれる。

医療圏の概要： 地域の中核となる病院（全麻年間500件以上）がなく、急性期医療の提供能力は低く（全身麻酔数の偏差値35-45）、駿東田方への依存が極めて強い医療圏である。急性期以後は、療養病床は非常に充実しているが、回復期病床は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数が43（病院勤務医数43、診療所医師数44）と、総医師数、病院勤務医、診療所医師はともに少ない。総看護師数43と少ない。

***急性期医療の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値40で、一般病床は少ない。賀茂には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。全身麻酔数31と非常に少ない。一般病床の流入-流出差が-48%であり、駿東田方への患者の流出が多い。

***療養病床・リハビリの現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は65と多い。療養病床の流入-流出差が+24%であり、周辺医療圏からの患者の流入が多い。総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は66と非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は50と全国平均レベルである。

***在宅医療の現状：** 在宅医療施設については、在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値63と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。

***医療需要予測：** 賀茂の医療需要は、2015年から25年にかけて6%減少、2025年から40年にかけて23%減少と予測される。そのうち0-64歳の医療需要は、2015年から25年にかけて22%減少、2025年から40年にかけて32%減少、75歳以上の医療需要は、2015年から25年にかけて18%増加、2025年から40年にかけて21%減少と予測される。

***介護資源の状況：** 賀茂の総高齢者施設ベッド数は、1188床（75歳以上1000人当たりの偏差値36）と全国平均レベルを下回る。そのうち介護保険施設のベッドが765床（偏差値42）、高齢者住宅等が423床（偏差値39）である。介護保険ベッド、高齢者住宅系ともに全国平均レベルを下回る。

75歳以上1000人当たりベッド数偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム48、グループホーム39、高齢者住宅34である。

***介護需要の予測：** 介護需要は、2015年から25年にかけて12%増、2025年から40年にかけて21%減と予測される。

22. 静岡県

(熱海伊東医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

地域の概要： 熱海伊東（熱海市等）は、総人口約 11 万人（2010 年）、面積 186 km²、人口密度は 598 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

熱海伊東の総人口は 2015 年に 11 万人と増減なし（2010 年比±0%）、25 年に 9 万人へと減少し（2015 年比-18%）、40 年に 7 万人へと減少する（2025 年比-22%）と予想されている。一方、75 歳以上人口は、2010 年 1.8 万人から 15 年に 2.1 万人へと増加（2010 年比+17%）、25 年にかけて 2.7 万人へと増加（2015 年比+29%）、40 年には 2.1 万人へと減少する（2025 年比-22%）ことが見込まれる。

医療圏の概要： 地域の基幹病院が複数あり、急性期医療の提供能力は全国平均レベルであるが（全身麻酔数の偏差値 45-55）、周囲の医療圏への流出の多い医療圏である。急性期以後は、療養病床も回復期病床も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数が 48（病院勤務医数 48、診療所医師数 50）と、総医師数、病院勤務医、診療所医師ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数 39 と少ない。

***急性期医療の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値 45 で、一般病床はやや少ない。熱海伊東には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の国際医療福祉大学熱海病院、伊東市民病院がある。全身麻酔数 49 と全国平均レベルである。一般病床の流入-流出差が-17%であり、周辺医療圏への患者の流出が多い。

***療養病床・リハビリの現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と全国平均レベルである。総療養士数は偏差値 48 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 55 とやや多い。

***精神病床の現状：** 精神病床は存在しない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 53 とやや多い。

***在宅医療の現状：** 在宅医療施設については、在宅療養支援診療所は偏差値 42 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 49 と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値 41 と少ない。

***医療需要予測：** 熱海伊東の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 3%減少、2025 年から 40 年にかけて 20%減少と予測される。そのうち 0-64 歳の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 17%減少、2025 年から 40 年にかけて 31%減少、75 歳以上の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 27%増加、2025 年から 40 年にかけて 21%減少と予測される。

***介護資源の状況：** 熱海伊東の総高齢者施設ベッド数は、4944 床（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 116）と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち介護保険施設のベッドが 1053 床（偏差値 43）、高齢者住宅等が 3891 床（偏差値 129）である。介護保険ベッドは全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たりベッド数偏差値は、老人保健施設 59、特別養護老人ホーム 43、介護療養型医療施設 39、有料老人ホーム 152、グループホーム 47、高齢者住宅 40 である。

***介護需要の予測：** 介護需要は、2015 年から 25 年にかけて 20%増、2025 年から 40 年にかけて 20%減と予測される。

(駿東田方医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

地域の概要： 駿東田方（沼津市等）は、総人口約 67 万人（2010 年）、面積 1278 km²、人口密度は 527 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

駿東田方の総人口は 2015 年に 66 万人へと減少し（2010 年比-1%）、25 年に 62 万人へと減少し（2015 年比-6%）、40 年に 54 万人へと減少する（2025 年比-13%）と予想されている。一方、75 歳以上人口は、2010 年 7.2 万人から 15 年に 8.4 万人へと増加（2010 年比+17%）、25 年にかけて 11.1 万人へと増加（2015 年比+32%）、40 年には 11.1 万人と変わらない（2025 年比±0%）ことが見込まれる。

医療圏の概要： 高機能病院や地域の基幹病院が複数あり、急性期医療の提供能力は平均レベルであり（全身麻酔数の偏差値 45-55）、賀茂や熱海・伊東より多くの患者が集まってくる医療圏である。急性期以後は、療養病床も回復期病床も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数が 48（病院勤務医数 48、診療所医師数 50）と、総医師数、病院勤務医、診療所医師ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数 48 と全国平均レベルである。

***急性期医療の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値 49 で、一般病床は全国平均レベルである。駿東田方には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の静岡県立静岡がんセンター（Ⅱ群）、順天堂大学静岡病院（Ⅱ群、救命）、沼津市立病院（救命）、1000 例以上の静岡医療センター、500 例以上の聖隷沼津病院がある。全身麻酔数 52 と全国平均レベルである。一般病床の流入-流出差が+15%であり、賀茂や熱海・伊東からの患者の流入が多い。

***療養病床・リハビリの現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 54 とやや多い。療養病床の流入-流出差が+11%であり、周辺医療圏からの患者の流入が多い。総療法士数は偏差値 53 とやや多く、回復期病床数は偏差値 53 とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 46 とやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 44 と少ない。

***在宅医療の現状：** 在宅医療施設については、在宅療養支援診療所は偏差値 47 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 49 と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値 42 と少ない。

***医療需要予測：** 駿東田方の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 4%増加、2025 年から 40 年にかけて 5%減少と予測される。そのうち 0-64 歳の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 9%減少、2025 年から 40 年にかけて 21%減少、75 歳以上の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 33%増加、2025 年から 40 年にかけて 1%減少と予測される。

***介護資源の状況：** 駿東田方の総高齢者施設ベッド数は、8685 床（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50）と全国平均レベルである。そのうち介護保険施設のベッドが 5128 床（偏差値 54）、高齢者住宅等が 3557 床（偏差値 48）である。介護保険ベッドは全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たりベッド数偏差値は、老人保健施設 49、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 58、有料老人ホーム 51、グループホーム 48、高齢者住宅 49 である。

***介護需要の予測：** 介護需要は、2015 年から 25 年にかけて 27%増、2025 年から 40 年にかけて増減なしと予測される。

22. 静岡県

(富士医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

地域の概要： 富士（富士市等）は、総人口約 39 万人（2010 年）、面積 634 km²、人口密度は 609 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

富士の総人口は 2015 年に 38 万人へと減少し（2010 年比-3%）、25 年に 36 万人へと減少し（2015 年比-5%）、40 年に 32 万人へと減少する（2025 年比-11%）と予想されている。一方、75 歳以上人口は、2010 年 3.8 万人から 15 年に 4.6 万人へと増加（2010 年比+21%）、25 年にかけて 6.2 万人へと増加（2015 年比+35%）、40 年には 6.4 万人へと増加する（2025 年比+3%）ことが見込まれる。

医療圏の概要： 地域の基幹病院が複数あるが、急性期医療の提供能力は低く（全身麻酔数の偏差値 35-45）、周囲の医療圏への流出の多い医療圏である。急性期以後は、療養病床も回復期病床も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数が 39（病院勤務医数 37、診療所医師数 46）と、総医師数、病院勤務医はともに少ない。総看護師数 41 と少ない。

***急性期医療の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値 39 で、一般病床は少ない。富士には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の富士市立中央病院、富士宮市立病院がある。全身麻酔数 38 と少ない。一般病床の流入-流出差が-17%であり、周辺医療圏への患者の流出が多い。

***療養病床・リハビリの現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 50 と全国平均レベルである。総療法士数は偏差値 48 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 52 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 45 とやや少ない。

***在宅医療の現状：** 在宅医療施設については、在宅療養支援診療所は偏差値 40 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 44 と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値 47 とやや少ない。

***医療需要予測：** 富士の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 6%増加、2025 年から 40 年にかけて 4%減少と予測される。そのうち 0-64 歳の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 9%減少、2025 年から 40 年にかけて 20%減少、75 歳以上の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 36%増加、2025 年から 40 年にかけて 3%増加と予測される。

***介護資源の状況：** 富士の総高齢者施設ベッド数は、3888 床（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42）と全国平均レベルを下回る。そのうち介護保険施設のベッドが 2459 床（偏差値 48）、高齢者住宅等が 1429 床（偏差値 42）である。介護保険ベッドは全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たりベッド数偏差値は、老人保健施設 52、特別養護老人ホーム 48、介護療養型医療施設 47、有料老人ホーム 46、グループホーム 45、高齢者住宅 43 である。

***介護需要の予測：** 介護需要は、2015 年から 25 年にかけて 30%増、2025 年から 40 年にかけて 3%増と予測される。

(静岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

地域の概要： 静岡（静岡市）は、総人口約 72 万人（2010 年）、面積 1412 km²、人口密度は 507 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

静岡の総人口は 2015 年に 70 万人へと減少し（2010 年比−3%）、25 年に 65 万人へと減少し（2015 年比−7%）、40 年に 56 万人へと減少する（2025 年比−14%）と予想されている。一方、75 歳以上人口は、2010 年 8.3 万人から 15 年に 9.7 万人へと増加（2010 年比+17%）、25 年にかけて 12.6 万人へと増加（2015 年比+30%）、40 年には 12.1 万人へと減少する（2025 年比−4%）ことが見込まれる。

医療圏の概要： 高機能病院や地域の基幹病院が複数あり、急性期医療の提供能力は平均レベルであり（全身麻酔数の偏差値 45-55）、志太榛原より多くの患者が集まってくる医療圏である。急性期以後は、療養病床も回復期病床も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数が 48（病院勤務医数 47、診療所医師数 51）と、総医師数、病院勤務医、診療所医師ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数 48 と全国平均レベルである。

***急性期医療の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値 48 で、一般病床は全国平均レベルである。静岡には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の静岡県立総合病院（Ⅱ群、救命）、静岡赤十字病院（救命）、1000 例以上の静岡市立静岡病院（Ⅱ群）、静岡市立清水病院、静岡済生会総合病院（救命）、静岡県立こども病院、500 例以上の厚生連静岡厚生病院がある。全身麻酔数 53 とやや多い。一般病床の流入－流出差が+16%であり、志太榛原からの患者の流入が多い。

***療養病床・リハビリの現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と全国平均レベルである。総療法士数は偏差値 46 とやや少なく、回復期病床数は偏差値 52 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 44 と少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 49 と全国平均レベルである。

***在宅医療の現状：** 在宅医療施設については、在宅療養支援診療所は偏差値 52 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 42 と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値 37 と少ない。

***医療需要予測：** 静岡の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 3%増加、2025 年から 40 年にかけて 8%減少と予測される。そのうち 0-64 歳の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 10%減少、2025 年から 40 年にかけて 22%減少、75 歳以上の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 30%増加、2025 年から 40 年にかけて 4%減少と予測される。

***介護資源の状況：** 静岡の総高齢者施設ベッド数は、9196 床（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46）と全国平均レベルをやや下回る。そのうち介護保険施設のベッドが 5644 床（偏差値 51）、高齢者住宅等が 3552 床（偏差値 44）である。介護保険ベッドは全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たりベッド数偏差値は、老人保健施設 50、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 49、有料老人ホーム 46、グループホーム 59、高齢者住宅 38 である。

***介護需要の予測：** 介護需要は、2015 年から 25 年にかけて 24%増、2025 年から 40 年にかけて 4%減と予測される。

22. 静岡県

(志太榛原医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

地域の概要： 志太榛原（藤枝市等）は、総人口約 47 万人（2010 年）、面積 1210 km²、人口密度は 391 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

志太榛原の総人口は 2015 年に 46 万人へと減少し（2010 年比-2%）、25 年に 44 万人へと減少し（2015 年比-4%）、40 年に 38 万人へと減少する（2025 年比-14%）と予想されている。一方、75 歳以上人口は、2010 年 5.7 万人から 15 年に 6.4 万人へと増加（2010 年比+12%）、25 年にかけて 8.4 万人へと増加（2015 年比+31%）、40 年には 8.5 万人へと増加する（2025 年比+1%）ことが見込まれる。

医療圏の概要： 地域の基幹病院が複数あるが、急性期医療の提供能力は低く（全身麻酔数の偏差値 35-45）、静岡への依存が比較的強い医療圏である。急性期以後は、療養病床は全国平均レベルであるが、回復期病床は充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数が 39（病院勤務医数 39、診療所医師数 40）と、総医師数、病院勤務医、診療所医師はともに少ない。総看護師数 39 と少ない。

***急性期医療の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値 41 で、一般病床は少ない。志太榛原には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院、500 例以上の市立島田市民病院、藤枝平成記念病院がある。全身麻酔数 41 と少ない。一般病床の流入-流出差が-17%であり、静岡への患者の流出が多い。

***療養病床・リハビリの現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 48 と全国平均レベルである。総療法士数は偏差値 44 と少なく、回復期病床数は偏差値 56 と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 42 と少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 43 と少ない。

***在宅医療の現状：** 在宅医療施設については、在宅療養支援診療所は偏差値 42 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 43 と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値 36 と少ない。

***医療需要予測：** 志太榛原の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 5%増加、2025 年から 40 年にかけて 6%減少と予測される。そのうち 0-64 歳の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 10%減少、2025 年から 40 年にかけて 19%減少、75 歳以上の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 31%増加、2025 年から 40 年にかけて 1%増加と予測される。

***介護資源の状況：** 志太榛原の総高齢者施設ベッド数は、4551 床（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 33）と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち介護保険施設のベッドが 3230 床（偏差値 42）、高齢者住宅等が 1321 床（偏差値 35）である。介護保険ベッド、高齢者住宅系ともに全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たりベッド数偏差値は、老人保健施設 50、特別養護老人ホーム 44、介護療養型医療施設 43、有料老人ホーム 41、グループホーム 41、高齢者住宅 40 である。

***介護需要の予測：** 介護需要は、2015 年から 25 年にかけて 25%増、2025 年から 40 年にかけて増減なしと予測される。

(中東遠医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

地域の概要： 中東遠（磐田市等）は、総人口約 47 万人（2010 年）、面積 832 km²、人口密度は 566 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

中東遠の総人口は 2015 年に 46 万人へと減少し（2010 年比-2%）、25 年に 44 万人へと減少し（2015 年比-4%）、40 年に 39 万人へと減少する（2025 年比-11%）と予想されている。一方、75 歳以上人口は、2010 年 5.3 万人から 15 年に 5.9 万人へと増加（2010 年比+11%）、25 年にかけて 7.9 万人へと増加（2015 年比+34%）、40 年には 8.7 万人へと増加する（2025 年比+10%）ことが見込まれる。

医療圏の概要： 地域の基幹病院が複数あるが、急性期医療の提供能力は低く（全身麻酔数の偏差値 35-45）、浜松への依存が強い医療圏である。急性期以後は、療養病床も回復期病床も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数が 38（病院勤務医数 37、診療所医師数 41）と、総医師数、病院勤務医、診療所医師はともに少ない。総看護師数 40 と少ない。

***急性期医療の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値 37 で、一般病床は少ない。中東遠には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の磐田市立総合病院（救命）がある。全身麻酔数 38 と少ない。一般病床の流入-流出差が-26%であり、浜松への患者の流出が多い。

***療養病床・リハビリの現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 48 と全国平均レベルである。療養病床の流入-流出差が-21%であり、周辺医療圏への患者の流出が多い。総療法士数は偏差値 44 と少なく、回復期病床数は偏差値 50 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 47 とやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 44 と少ない。

***在宅医療の現状：** 在宅医療施設については、在宅療養支援診療所は偏差値 41 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 43 と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値 43 と少ない。

***医療需要予測：** 中東遠の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 8%増加、2025 年から 40 年にかけて 3%減少と予測される。そのうち 0-64 歳の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 10%減少、2025 年から 40 年にかけて 18%減少、75 歳以上の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 33%増加、2025 年から 40 年にかけて 10%増加と予測される。

***介護資源の状況：** 中東遠の総高齢者施設ベッド数は、5572 床（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44）と全国平均レベルを下回る。そのうち介護保険施設のベッドが 3820 床（偏差値 55）、高齢者住宅等が 1752 床（偏差値 40）である。介護保険ベッドは全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たりベッド数偏差値は、老人保健施設 51、特別養護老人ホーム 55、介護療養型医療施設 50、有料老人ホーム 43、グループホーム 50、高齢者住宅 42 である。

***介護需要の予測：** 介護需要は、2015 年から 25 年にかけて 28%増、2025 年から 40 年にかけて 8%増と予測される。

22. 静岡県

(西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

地域の概要： 西部（浜松市等）は、総人口約 86 万人（2010 年）、面積 1645 km²、人口密度は 523 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

西部の総人口は 2015 年に 85 万人へと減少し（2010 年比-1%）、25 年に 81 万人へと減少し（2015 年比-5%）、40 年に 72 万人へと減少する（2025 年比-11%）と予想されている。一方、75 歳以上人口は、2010 年 9.5 万人から 15 年に 11.2 万人へと増加（2010 年比+18%）、25 年にかけて 14.8 万人へと増加（2015 年比+32%）、40 年には 15.6 万人へと増加する（2025 年比+5%）ことが見込まれる。

医療圏の概要： 大学病院、高機能病院や地域の基幹病院が複数あり、急性期医療の提供能力が高く（全身麻酔数の偏差値 55-65）、静岡県西部より多くの患者が集まってくる医療圏である。急性期以後は、療養病床も回復期病床も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数が 49（病院勤務医数 50、診療所医師数 46）と、総医師数、病院勤務医、診療所医師ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数 47 とやや少ない。

***急性期医療の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値 44 で、一般病床は少ない。西部には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の聖隷浜松病院（Ⅱ群、救命）、浜松医科大学（本院）、聖隷三方原病院（Ⅱ群、救命）、1000 例以上の浜松医療センター（救命）、JA 静岡厚生連遠州病院、500 例以上の浜松労災病院、浜松赤十字病院がある。全身麻酔数 60 と多い。一般病床の流入-流出差が+13%であり、静岡県西部からの患者の流入が多い。

***療養病床・リハビリの現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 53 とやや多い。総療法士数は偏差値 48 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 46 とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 48 と全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

***在宅医療の現状：** 在宅医療施設については、在宅療養支援診療所は偏差値 45 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 45 とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値 43 と少ない。

***医療需要予測：** 西部の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 6%増加、2025 年から 40 年にかけて 3%減少と予測される。そのうち 0-64 歳の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 8%減少、2025 年から 40 年にかけて 20%減少、75 歳以上の医療需要は、2015 年から 25 年にかけて 32%増加、2025 年から 40 年にかけて 5%増加と予測される。

***介護資源の状況：** 西部の総高齢者施設ベッド数は、12153 床（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53）と全国平均レベルをやや上回る。そのうち介護保険施設のベッドが 7626 床（偏差値 61）、高齢者住宅等が 4527 床（偏差値 47）である。介護保険ベッドは全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たりベッド数偏差値は、老人保健施設 58、特別養護老人ホーム 54、介護療養型医療施設 59、有料老人ホーム 47、グループホーム 50、高齢者住宅 46 である。

***介護需要の予測：** 介護需要は、2015 年から 25 年にかけて 27%増、2025 年から 40 年にかけて 5%増と予測される。